

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)【案】

協議会名:愛知県バス対策協議会
 評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)				
	運営主体	運行事業者			系統名	運行区間	輸送量(人)	収支率(%)			R2計画	R2実績		
01名古屋	豊山町	あおい交通(株)	48 タウンバス(南ルート)	航空館boon～名古屋栄	他の路線バスを補完できよう利便性の向上や利用促進を図るため、公共交通マップについて主要施設や関係機関等での配布、記入者への配布を行った。また、各種イベントにてマップや啓発品を配布することにより、市民のみならず町外の住民に対しても公共交通のPRを行った。	<p>【計画目標指標：利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず</p> <p>目標:67,000 実績:50,626(75.5%) ※前年度比78.9%</p> <p>B H27年度以降、前年度利用者数を割り込んでいる。利用者数の減少の原因と推察され、今後も推移を注視する必要がある。</p>	33.4	25.0	2.0	12.5	38.4	25.0	市町を跨ぐ利用者は、月平均4,050人で全体の96.0%と大多数を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊山町内のバス停からの乗降客の多くは、名古屋市内の若・豊川等に垂降している。《広域的・幹線系統》名鉄バス(西春・空港線、基幹バス等)、あおい交通豊山幸田・豊川線、名古屋市営地下鉄、名古屋市営バス	利用者が4年連続で前年度を下回り、目標数値を達成することができなくなった。豊山町の公共交通の利便性を認識していない市民が多いため、引き続き利便性の向上やPRに努める必要がある。
01名古屋	あおい交通(株)	あおい交通(株)	47 豊山幸田・勝川	豊山幸田～勝川駅前	沿線商業施設に公共交通マップを配架する。また、デジタルマップの経路検索に対応するなど、PRに努めた。	<p>目標:72,000 実績:58,675(81.5%) ※前年度比73.9%</p> <p>B 勝川駅から三菱航空機三菱重工への需要、通勤の足として、春日井市と豊山町を結ぶ路線となっており、名古屋空港利用者やエアポートワークでの買い物客の利用も多い。</p>	73.8	33.2	2.7	12.3	102.9	49.3	市町を跨ぐ利用者は、月平均約4,600人で全体の95%を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊山町内や春日井市内での利用者はほとんどない。《地域的・ワンダー系統》(豊山町)およびたまワンバス(北ルート)	名古屋空港やあい航空ミュージアムの利用者の回復が重要な課題であり、関係市町や事業者と情報共有、調整を行い、利便性の向上等に取り組む。沿線の豊山町では引き続き、公共交通マップを作成し、広報やイベント等での利用促進PRに取り組む。
01名古屋	飛鳥村	三重交通(株)	54 飛鳥公共交通(名港線)	名古屋港～名古屋港	今後のダイヤ改正に向けて、利用者アンケート等、ニーズの把握を行った。沿線の名古屋市内では、記入者に配布する冊子に交通エコドライブに関する記事を掲載するなど、公共交通の利用促進を実施した。	<p>目標:118,000 実績:104,371(88.5%) ※前年度比88.1%</p> <p>B 本路線は飛鳥村西部に位置する港美地区に立地する企業への通勤手段としての利用が主であり、通勤等により利用者数が変動するが、朝の通勤時にはほぼ満車の状態である。運行形態について検討する時期を迎えていると考えられる。</p>	58.5	56.1	4.6	12.2	41.2	38.3	市町村を跨ぐ利用者は、月平均8,698人でほぼ100%の割合であり、名古屋港から飛鳥村南部の港美地区への通勤手段として利用されている。	令和2年10月からダイヤを改正し、沿線企業従業員の移動手段の確保や利便性向上を図る。また、ホームページへの掲載、チラシ配布、イベント時におけるPR活動のほか、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会において周知を図る。名古屋市内では、引き続き、交通エコドライブの取組を進める。
02豊橋	豊鉄バス(株)	伊良湖支線(福社C堀切)	27 渥美病院～保美	渥美病院～保美	原市内の高校生を対象に定期券出張販売を実施。また、赤羽根地区に於いて高齢者を対象とした市営バス「一もん講座」で田原市との共同利用促進に努めた。田原市では令和元年9月からは市内高校生への通学定期券の購入助成を実施した。	<p>目標:59,556 実績:48,861(91.2%) ※前年度比84.3%</p> <p>B 新型コロナウイルスの影響により、特に屋敷地区において、利用者が減少した。</p>	26.5	21.3	2.6	8.2	46.6	35.3	旧町を跨ぐ利用者は、月平均4,260人で全体の86.1%を占めており、広域的な路線を果たしていると考えられる。起点にある渥美病院への通院や鉄道駅(三河田原駅)への通学利用が大部分と見られる。《地域の「ワンダー」系統》(田原市)くるりんバス(市街地線、豊清線)、(田原市)くるりんミニバス(家浜線、高松線、中山線、八王子線)	令和3年9月のバスロケーションシステムの導入に合わせて、GTFSS化を行い、利便性向上を図る。また、沿線の田原市では令和元年9月から行っている市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施する。また、中学生・高校生を対象とした利用促進事業(ノンフレット配布等)を実施する。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)			
	運行事業者	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	R2計画	R2実績			輸送量(人)	収支率(%) R1実績 R2実績	
02豊橋	豊鉄バス(株)	伊良湖本線(伊良湖線)	渥美病院～伊良湖	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な運延はなす。所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標 44,235 実績 34,582(78.1%) ※前年度比77.6%	22.9	14.5	4.4	59.0	45.2	旧町を跨ぐ利用者は、月平均2,490人で全体の76.1%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。起点にある渥美病院への通院や就労(三河田原駅)の利用、沿線学校への通学利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (田原市)ぐるりんバス(市街地線、重井線、野田線、(田原市)ぐるりんミニバス(表浜線、高松線、中山線、八王子線))	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSS化を行い、利便性向上を図る。また、沿線の田原市では令和元年9月から行っている市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施するとともに、中学生・高校生を対象とした利用促進事業(ハンフレット配布等)を実施する。
02豊橋 11新城	豊鉄バス(株)	新豊	豊橋駅前～新城富永	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な運延はなす。所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標 139,518 実績 131,577(94.3%) ※前年度比92.7%	34.7	30.6	9.0	44.6	38.8	樺敷市を跨ぐ利用者は、月平均4,230人で全体の22.2%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市と豊川市、相互間の通勤利用や買い物利用、また、豊川市外からの豊川市民病院への通院利用が多いと考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊橋市)ぐるりんバス(豊橋市内路線、豊橋市コミュニティバス、豊川コミュニティバス、(新城市)S/V)	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSS化を行い、利便性向上を図る。また、沿線の豊川市では、google始めコンテナマップロバイダーを一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等へのPRに努めていく。
02豊橋	豊鉄バス(株)	伊良湖本線(豊橋橋体暇村明神)	豊橋駅前～伊良湖	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な運延はなす。所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標 104,866 実績 108,272(103.2%) ※前年度比91.8%	29.6	27.6	7.9	45.3	40.1	豊橋市、旧田原町及び旧渥美町を跨ぐ利用者は、月平均5,715人で全体の59.9%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。渥美病院への通院、鉄道駅(豊橋駅、三河田原駅)の利用、沿線学校への通学利用が大部分であると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊橋市)ぐるりんバス(豊橋市内路線、豊橋市コミュニティバス、(田原市)ぐるりんミニバス、(田原市)ぐるりんミニバス)	田原市内の高校生が減少している一方で、生活交通路線として安定的な路線の維持に努めていく。また、令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSS化を行い、利便性向上を図る。沿線の田原市では市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施するほか、豊橋市では転入者等に公共交通マップを配布する。
02豊橋	豊鉄バス(株)	渥美病院～伊良湖	渥美病院～保美	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な運延はなす。所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標 88,381 実績 94,127(106.5%) ※前年度比99.6%	45.9	48.2	13.4	50.4	53.7	旧町を跨ぐ利用者は、月平均6,345人で全体の64.7%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。渥美病院への通院、鉄道駅(三河田原駅)の利用、沿線学校への通学利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (田原市)ぐるりんバス(市街地線、重井線、野田線、(田原市)ぐるりんミニバス(表浜線、高松線、中山線、八王子線))	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSS化を行い、利便性向上を図る。田原市では令和元年9月から行っている市内高校生への通学定期券の購入助成を継続して実施するとともに、中学生・高校生を対象とした利用促進事業(ハンフレット配布等)を実施する。
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊川(豊川駅前)	豊橋駅前～豊川駅前	B	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な運延はなす。所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標 43,183 実績 39,482(91.4%) ※前年度比89.3%	18.4	16.8	5.8	59.2	52.9	市を跨ぐ利用者は、月平均855人で全体の28.2%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通勤利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊橋市)ぐるりんバス(豊橋市内路線)、豊橋市コミュニティバス、豊川コミュニティバス、(田原市)ぐるりんミニバス	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、利便性向上を図る。沿線の豊川市では、googleをはじめとしたコンテンツを一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等へのPRに努めていく。

【交通圏】

①補助対象事業 運営主体	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
				運行区間	系統名	輸送量(人)	収支率(%)	R2 計画			R2 実績
02豊橋 豊鉄バス(株)	豊橋駅前～豊川市市民病院 豊川駅前 【車両減価償却等国庫補助金の交付対象】(新城営業所に3台他系統と共通)	豊川市内の沿線住民に、地域密着型の時刻表を配布し、利用促進に努めた。また、独自開発したアプリを作成し、豊橋駅前のバスセンターに継続して設置した。豊川市では、バスマップやHPへ時刻表を掲載したほか、GTF5データの整備を行った。また、豊橋市では駅入者や市内施設へ公共交通マップを配布した。	A 補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなし、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:142,912 実績:118,948(83.2%) ※前年度比86.6% B 他の豊川線2系統と合算して評価する必要があり、豊川線3系統合算の利用者数は前年比86.4%であった。	46.8	3.0	13.1	62.1	53.8	市を跨ぐ利用者は、月平均2,850人で全体の29.0%を占めており、広域的な路線の役割を担っていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通勤利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・ライダー的系統》 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミュニティバス、豊川コミュニティバス	令和3年3月よりバスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。沿線の豊川市でシリアルナンバーを一体的に導入し、googleをはじめとしたコンテナンツアプリやナビアプリへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。 豊橋市では、公共施設等へ時刻表の配布やイベント等でのPRに努めている。
02豊橋 豊鉄バス(株)	豊橋駅前～豊川市市民病院 【車両減価償却等国庫補助金の交付対象】(新城営業所に3台他系統と共通)	豊川市内の沿線住民に、地域密着型の時刻表を配布し、利用促進に努めた。また、独自開発したアプリを作成し、豊橋駅前のバスセンターに継続して設置した。豊川市では、バスマップやHPへ時刻表を掲載したほか、GTF5データの整備を行った。また、豊橋市では駅入者や市内施設へ公共交通マップを配布した。	A 補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延はなし、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:49,049 実績:41,989(85.6%) ※前年度比83.4% B 他の豊川線2系統と合算して評価する必要があり、豊川線3系統合算の利用者数は前年比86.4%であった。	23.7	3.9	5.1	72.2	68.7	市を跨ぐ利用者は、月平均2,220人で全体の43.0%を占めており、広域的な路線の役割を担っていると考えられる。豊橋市及び豊川市相互間の通勤利用や買い物利用、豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられる。 《地域的・ライダー的系統》 豊鉄バス(豊橋市内路線)、豊橋コミュニティバス、豊川コミュニティバス	令和3年3月よりバスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図る。沿線の豊川市でシリアルナンバーを一体的に導入し、googleをはじめとしたコンテナンツアプリやナビアプリへ一体的に市内バス路線情報を提供し、市民及び市外からの来訪者の利便性の向上を図る。豊橋市では、公共施設等へ時刻表の配布やイベント等でのPRに努めている。
03岡崎 10豊田 名鉄バス(株)	大沼 東岡崎～大沼	HP、スマートフォンでの時刻表検索システム、バスロケーションシステム、バスロケーションアプリの提供や、コンテントマップアプリへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線のバスマップ等への乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	A 台風19号による暴風雨のため7便が運休となったが、それ以外所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:62,500 実績:39,729(63.6%) ※前年度比65.2% B 令和元年10月～令和2年2月までは前年比101.0%。停留所の中で、特に新築の住宅が多い真直町への通勤利用者が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。	20.1	1.9	5.6	39.1	18.4	市を跨ぐ利用者は、月平均330人で全体の約9%を占める。その内訳は、通学定期27.3%、ゴールド・シルバー・得々バス18.2%、現金・ICSF(定期)以外44.5%である。鉄道(東岡崎駅)の利用、沿線学校への通学、中心市街地部への買い物等の利用者が大部分と考えられる。 《地域的・ライダー的系統》 しもやまバス	HP、スマートフォンでの時刻表検索システム、バスロケーションシステム、バスロケーションアプリの提供や、コンテントマップアプリへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線のバスマップ等への乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。
03岡崎 10豊田 名鉄バス(株)	岡崎・足助 東岡崎～足助	HP、スマートフォンでの時刻表検索システム、バスロケーションシステム、バスロケーションアプリの提供や、コンテントマップアプリへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線のバスマップ等への乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	A 雨量規制による暴風雨のため16本の運休となったが、それ以外所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:154,800 実績:107,246(69.3%) ※前年度比78.3% B 令和元年10月～令和2年2月までは前年比99.3%。停留所の中で、特に三菱自動車技術センターの減少が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。	36.8	3.6	8.0	56.2	32.9	市を跨ぐ利用者は、月平均1,170人で全体の13.1%を占める。通勤定期15.4%、通学定期46.2%、ゴールド・シルバー・得々バス17.9%、現金・ICSFの定期外20.5%。通学利用の比率が高い。鉄道(東岡崎)の利用者、岡崎市内への通学、通院、買い物利用者が大部分と考えられる。 《地域的・ライダー的系統》 おいてバス(旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線)	岡崎市内の需要の多い区間で利用者数を稼いでいるが、広域的な利用の減少傾向は進んでいる。足助地区など観光目的の需要もあるが、現行の運行本数を維持するまでには至っていない。引き続き、沿線と連れた利用促進を図りながら、利用実態に合わせた運行計画を行い、効率性の向上に努める。
03岡崎 09川谷・安城・碧南・西尾 名鉄バス(株)	岡崎・安城 東岡崎～安城駅前	HP、スマートフォンでの時刻表検索システム、バスロケーションシステム、バスロケーションアプリの提供や、コンテントマップアプリへのデータ提供により、利便性向上に努めた。沿線の関係などにより、利用促進を図った。	A 台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:48,400 実績:44,893(92.3%) ※前年度比96.3% B 令和元年10月～令和2年2月までは前年比104.7%。停留所の中で、特にJR安城駅の利用者が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。	23.3	1.5	12.3	26.0	21.5	市を跨ぐ利用者は、月平均1,110人で全体の28.0%を占める。通勤定期24.3%、ゴールド・シルバー・得々バス5.4%、現金・ICSFの定期外70.3%。鉄道(東岡崎、安城駅)の利用者、沿線にある病院への通院、中心市街地部への買い物利用が大部分と考えられる。 《地域的・ライダー的系統》 名鉄バス(安城線)、あひるバス(循環線、東部線、西部線、作野線)	再編により改善された定時性の確保、及び今後安定した運行による利用者利便性の向上に努める。また、高齢者専用定期券「1日フリーパス」のPRを積極的に行い、乗降率の向上に努める。

【交通圏】

①補助対象事業 業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥篠原市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)				
	運行 主体	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績			(平均 回数)	R1 実績	R2 実績	
03岡崎	名鉄東部交通(株)	44-1 岡崎・西尾	東岡崎～西尾	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	目標：176,994 実績：107,924(61.0%) ※前年比60.4% 2系統合算前年比 68.0%	73.4 44.1	63.3 33.2	4.4 3.5	14.4 9.5	77.8 47.1	72.6 47.1	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人 で全体の20%を占めており、広域的 な路線の役割を果たしていると考え る。岡崎から西尾市への通勤・通 学等の交通手段として利用されてい るほか、西尾市から岡崎市への通 勤・通学利用としても使われている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津 線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万 石・くるりんバス、(西尾市)いこま い。	藤田医大系統を新設したが、そ の動向をみつ、改善余地が ないか検討する。また、岡崎 市では、デマンド型折り合いタク シーとの乗継利便性や感染対 策等の安全性の周知など、西 尾市では、増加傾向にある外 国籍住民を対象にした多言語 対応のパンフレット配布などを 行う。
03岡崎	名鉄東部交通(株)	44-2 岡崎・西尾 岡崎・西尾 大学岡崎 医療セン ター	東岡崎～西尾	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	目標：— 実績：13,603 2系統合算前年比 68.0%	30.3	17.5	2.7	6.5	—	37.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人 で全体の20%を占めており、広域的 な路線の役割を果たしていると考え る。岡崎から藤田医療センターや 西尾市への通勤・通学・通院等の交 通手段として利用されているほか、 西尾市から岡崎市への通勤・通学 利用としても使われている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津 線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万 石・くるりんバス、(西尾市)いこま い。	藤田医大系統を新設したが、そ の動向をみつ、改善余地が ないか検討する。また、岡崎 市では、デマンド型折り合いタク シーとの乗継利便性や感染対 策等の安全性の周知など、西 尾市では、増加傾向にある外 国籍住民を対象にした多言語 対応のパンフレット配布などを 行う。
03岡崎	名鉄東部交通(株)	45-1 岡崎・西尾 (西尾市民 病院)	岡崎駅西口～西尾 若松町～西尾	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	目標：69,216 実績：43,063(62.2%) ※前年比64.3% 2系統合算前年比 81.8%	33.6 14.4	33.6 14.0	3.5 3.5	9.6 4.0	69.0	64.4 56.3	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人 で全体の約26%を占めており、広域的な 路線の役割を果たしていると考えら れる。岡崎駅と西尾市民病院を結ぶ市域 内路線であり、沿線には西尾市民 病院、西尾東高校があり通院、通学 の足として地域住民の移動手段を確保し ている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、 平坂・中畑線)、(西尾市)六万石・くる りんバス、(西尾市)いこまい。	藤田医大系統を新設したが、そ の動向をみつ、改善余地が ないか検討する。また、岡崎 市では、デマンド型折り合いタク シーとの乗継利便性や感染対 策等の安全性の周知など、西 尾市では、増加傾向にある外 国籍住民を対象にした多言語 対応のパンフレット配布などを 行う。
03岡崎	名鉄東部交通(株)	45-2 岡崎・西尾 (西尾市民 病院)	岡崎駅西口～ 藤田医大岡崎 医療センタ ー～西尾	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	A 補助対象期間の開始日から 運休はなく、所定の事業 計画どおりの運行が実施さ れた。	目標：— 実績：11,723 2系統合算前年比 81.8%	27.3	16.7	2.3	7.3	—	36.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,099人 で全体の約26%を占めており、広域的な 路線の役割を果たしていると考えら れる。岡崎駅と西尾市民病院を結ぶ市域 内路線であり、沿線には西尾市民 病院、西尾東高校があり通院、通学 の足として地域住民の移動手段を確保し ている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、 平坂・中畑線)、(西尾市)六万石・くる りんバス、(西尾市)いこまい。	藤田医大系統を新設したが、そ の動向をみつ、改善余地が ないか検討する。また、岡崎 市では、デマンド型折り合いタク シーとの乗継利便性や感染対 策等の安全性の周知など、西 尾市では、増加傾向にある外 国籍住民を対象にした多言語 対応のパンフレット配布などを 行う。
03岡崎	東伸運輸(株)	61 あんくるバ ス(東部線)	北部福祉セ ンター～北部福 祉センター	A 利用促進のためのチラシ 等を配布する際、おすす めプログラムを掲載するなど、 気軽に分かりやすい気 分にバスを便りやすさ をもち、情報提供を行 った。また、Googleマップの経路 検索に対応し、利便性向 上を図った。	B 台風19号による黒風雨の ため8便が運休となった が、それ以外は運休や大 きな遅延もなく、所定の事 業計画どおりの運行が実 施されている。	目標：31,000 実績：26,025(84.0%) ※前年比74.4%	28.9	26.9	3.9	6.9	11.1	8.3	バスローテーションシステムによ る運行状況(遅れ等)の把握や 乗降調査による交通需要の把 握を行う。また、公共交通に 対する知識の向上や利用に対 する意識の醸成に向け、セ ンター・マニエットの資料 を作成し、乗り方教室等の利用 を促進する。岡崎市では公共交通 マップの作成・配布や感染対策 等の安全性の周知を図る。	バスローテーションシステムによ る運行状況(遅れ等)の把握や 乗降調査による交通需要の把 握を行う。また、公共交通に 対する知識の向上や利用に対 する意識の醸成に向け、セ ンター・マニエットの資料 を作成し、乗り方教室等の利用 を促進する。岡崎市では公共交通 マップの作成・配布や感染対策 等の安全性の周知を図る。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥横敷市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)								
	運行主体	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2計画	R2実績			平均(運行回数)	R1実績	R2実績					
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	14	i-バス(一宮コース)	木曾川片舎～市民病院	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びi-バスの情報のGTFIS化により、利用促進を図った。また、バス停と離れた地域を結ぶ予約制乗合タクシー(i-バスミニ)の運行により、バスの利便性向上を図った。	台風接近による影響で8本が運休となったが、その他は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	目標 93,576 実績 70,871 (75.7%) ※前年度比73.0%	令和元年10月～令和2年1月までは前年比103%であったが、2月以降、前年比59%であった。	38.1	29.8	2.9	10.3	42.8	27.7	一宮市と旧尾西市・旧木曾川町を跨ぐ利用者は2,800人/月と推定され、全体の47.9%を占め、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。総合病院及び一宮駅への利用が大部分と考えられる。 《地域的・ワイヤー的系統》 i-バス(尾西北コース、木曾川・北方コース)、ニコニコふれあいバス、千秋ふれあいバス	一宮駅～市民病院間は路線バスと競合しているため、利用者ニーズに合ったより効率的な運行方法への改善、検討が必要。バスマップの配布、1日乗車券の発売及び、乗降回数の調査や教室内でのバスのPR等により、引き続き利用促進を図る。また、バスで利用できる施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。また、バスで利用できる施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	15	i-バス(尾西南コース)	萩原駅～萩原駅	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びi-バスの情報のGTFIS化により、利用促進を図った。また、バス停と離れた地域を結ぶ予約制乗合タクシー(i-バスミニ)の運行により、バスの利便性向上を図った。	台風接近による影響で5本が運休となったが、その他は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	目標 38,054 実績 32,306 (84.9%) ※前年度比87.4%	令和元年10月～令和2年1月までは前年比111%であったが、2月以降、前年比76%となった。	33.5	31.2	4.0	7.8	10.8	8.5	一宮市と旧尾西市を跨ぐ利用者は、月平均740人と推定され、全体の27.9%を占め、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。病院への通院及び教員駅への乗降の利用が大部分と考えられる。 《地域的・ワイヤー的系統》 i-バス(尾西北コース)、i-バスミニ	平成27年10月に地域全体を便利に運行する等の見直しを行い、利用者は増加したが、最近では鈍化傾向である。バスマップの配布、1日乗車券の発売及び、高齢者向けの講座や教室でのバスのPR等により、引き続き利用促進を図る。また、バスで行ける施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。また、バスで利用できる施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	16	i-バス(木曾川・北方コース)	木曾川片舎～木曾川片舎	バスマップの配布、1日乗車券の発売、及びi-バスの情報のGTFIS化により、利用促進を図った。また、バス停と離れた地域を結ぶ予約制乗合タクシー(i-バスミニ)の運行により、バスの利便性向上を図った。	台風接近による影響で5本が運休となったが、その他は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	目標 24,100 実績 15,557 (64.6%) ※前年度比73.9%	令和元年10月～令和2年1月までは前年比107.4%であったが、2月以降、前年比62%となった。	17.6	14.0	1.6	8.8	8.2	5.7	一宮市と旧木曾川町を跨ぐ利用者は、525人/月と推定され全体の40%を占め、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。総合病院への通院、大型ショッピングセンターへの買い物、JTB木曾川駅への鉄道利用、他のバスコースへの乗継などが大部分と考えられる。 《地域的・ワイヤー的系統》 名鉄バス(i-宮・イオン木曾川線、光明寺線)、i-バス一宮コース	現在の利用者数の維持に向け、バスマップの配布、1日乗車券の発行及び、高齢者向けの講座や教室でのバスのPR等の実施や、バスで行ける施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。また、バスで利用できる施設内等を充実させて、よりわかりやすく気軽にバスが利用できる。
04一宮	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	08	一宮・イオン木曾川	名鉄一宮～イオン木曾川	HP、スマートフォン、バス時刻検索システム、バスロケーションシステム等の提供や、コンテナ型プロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線の一宮市において、i-バスマップの作成や1日乗車券の発行など、利用促進に努めた。	台風接近による影響で7本が運休となったが、その他は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	目標 79,700 実績 59,145 (74.2%) ※前年度比75.8%	令和元年10月～令和2年2月までは前年比107.4%。停留所の中で、特にイオン木曾川の利用者が減少が大きい。店舗休止などに伴い、通勤・買物利用者が減少したと考えられた。	30.4	25.2	2.4	10.5	47.4	32.4	一宮市と旧木曾川町を跨ぐ利用者は、月平均3810人と全体の79%を占めている。鉄道駅(一宮駅)の利用、大型商業施設への買い物利用が大部分と考えられる。 《地域的・ワイヤー的系統》 ニコニコふれあいバス、千秋ふれあいバス、i-バスミニ	一宮駅とイオンモール木曾川に酷似した名称の停留所が複数あり、利用者にとってわかりにくいため、令和3年4月に停留所名称を変更予定。また、高齢者利用定額券コード・シングルバーンのPRを積極的に実施し、停留所の利用促進を図るとともに、沿線市と連携して、1日乗車券の発行などを行う。
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	25	くるりんばす(梅森線)	市役所～東名古屋病院～市役所	これまで実施したOD調査や市民アンケート結果の精査、市民委員を含めた協議・整理を行い、車庫すべき項目の検討を行った。また、観光需要促進のため、市内の有名な声優を起用したバス車内放送を使用したイベントを実施した。	事業計画どおりの運行回数が増加している	A	目標 50,353 実績 36,476 (72.4%) ※前年度比82.3%	令和元年10月～令和2年2月までは前年比102%増加していたが、その後新型コロナウイルスの影響により減少した。	18.6	12.7	1.3	9.8	14.5	10.1	市を跨ぐ利用者は全体の8%程度であるが、当該路線は日進市西部と赤池駅を結ぶ路線であり、多数の路線を越えて利用しており、市域を超えた移動を支える非常に重要な路線である。また、東名古屋病院への連利用も推進される。 《地域的・ワイヤー的系統》 くるりんばす	運賃の値上げ、土日の減便、総距離の短縮など、様々な要因が重なった結果、再編前より利用実績が減少しているため、路線の部分修正、全線再編に向けて、利用者のニーズに沿った計画を検討・策定する必要がある。また、引き続き、交通ICカードでは、引き続き、交通ICカードの取組を進め、利用促進を図る。

【交通圏】

①補助対象事業 業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
	運行 事業者	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	輸送量(人) R2 実績			平均 (運行 回数)	R1 実績
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(線) 26 くるりんばす(五色園線)	市役所～長久手古戦場駅～市役所	A これまで実施したOD調査や市民アンケート結果の精査、市民委員を含めた検討会等を通じ、課題の把握・整理を行い、再編すべき項目の検討を行った。また、観光需要促進のため、市内出身の有名名優を起用したバス車内放送を使用したイベントを実施した。	A 事業計画どおりの運行回数が増えている	目標 78,777 実績 57,999(73.6%) ※前年度比80.4%	21.5	18.6	9.8	14.2	10.5	全体の約7割が市町村間を跨ぐ利用であり、交通結節点である長久手古戦場駅と本市西部を結ぶ非常に重要な路線である。また、バスを乗り継ぐことにより高度医療拠点である愛知医科大学病院へのアクセスが出来るなど、通勤、通学、買い物の足として幅広く利用されている。《地域的・ライダー的系統》 《地域の・ライダー的系統》 くるりんばす、長久手市N-N(中央循環線)	路線の部分修正、全線再編に向けて、利用者のニーズに沿った計画を検討・策定する必要がある。沿線の長久手市では、OD調査や市民委員等を通じて、移動ニーズを把握し、日進市及び交通事業者と連携して、最適な路線構築を図る。
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(線) 06 日進中央	赤池駅～長久手古戦場駅	HP、スマートフォンでの時刻表システム、バスロケーションシステム、バスロケやコンテンツアプリの提供へのデータ提供を行った。沿線の日進市では市内ICFコミュニティバスとともにGTF Sデータの更新を実施した。	A 台風19号による暴風雨のため20便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標 130,300 実績 109,289(83.9%) ※前年度比85.3%	63.0	52.5	3.5	58.3	45.6	沿線に立地する大規模商業施設に起因する道路渋滞の影響を最小限に食い止める施策の実施を検討する。沿線の日進市では、アンケート調査等により課題の抽出を行う。長久手市では、引き続きイベントを開催し、公共交通に触れる機会を創り出す。	沿線に立地する大規模商業施設に起因する道路渋滞の影響を最小限に食い止める施策の実施を検討する。沿線の日進市では、アンケート調査等により課題の抽出を行う。長久手市では、引き続きイベントを開催し、公共交通に触れる機会を創り出す。	
05瀬戸・日進・豊明 10豊田	名鉄バス(線) 07 星ヶ丘・豊田	赤池駅～イオン三好店アイモール前	HP、スマートフォンでの時刻表システム、バスロケやコンテンツシステム、バスロケやコンテンツアプリの提供へのデータ提供を行った。市役所窓口や沿線のコミュニティセンターに時刻表を配架し周知に努めた。	A 台風19号による暴風雨のため10便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標 40,100 実績 28,834(71.9%) ※前年度比73.6%	16.9	14.3	2.2	6.5	42.3	28.8	樺敷市町を跨ぐ利用者は、月平均1,890人で全体の79%を占め、現金、ICSFの定期外利用が90.5%であり、真瀬町内から日進市内の赤池駅への買い物利用が大部分と考えられる。《地域的・ライダー的系統》 《地域の・ライダー的系統》 (真瀬町)しゅんかい君(北、南北コース)、(日進市)くるりんばす(赤池線)	高齢者定期券ゴールド・シルバーバスのPRを積極的の実施し、屋間帯の利用促進を図る。また、赤池駅、東郷町の大型商業施設開業後の利用状況等について、沿線市町と情報共有し、路線のあり方について協議する。
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(線) 10 愛知医科大学病院	長久手古戦場駅～尾張旭向ヶ丘	HP、スマートフォン、バスロケやコンテンツシステム、バスロケやコンテンツアプリの提供へのデータ提供を行った。また、沿線のバスマップ等に路線情報の掲載や沿線市によるイベントでルートマップ等を配布するなど利用促進に努めた。	A 台風19号による暴風雨のため13便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標 56,500 実績 45,420(80.4%) ※前年度比84.0%	20.6	15.4	1.2	22.7	16.8	18.8	開設当初より路線の周知に努めてきたが利用者の増加には繋がっていない。関係自治体や大学、高校と連携したPRが必要である。高齢者定期券ゴールド・シルバーバスのPRを積極的の実施し、屋間帯の利用促進を図る。また、沿線市町と時刻表を作成し、ホームページ等を使った周知、市イベントでのPRなど利用促進を図る。	開設当初より路線の周知に努めてきたが利用者の増加には繋がっていない。関係自治体や大学、高校と連携したPRが必要である。高齢者定期券ゴールド・シルバーバスのPRを積極的の実施し、屋間帯の利用促進を図る。また、沿線市町と時刻表を作成し、ホームページ等を使った周知、市イベントでのPRなど利用促進を図る。
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(線) 11 本地ヶ原	藤が丘～瀬戸駅前	HP、スマートフォンでの時刻表システム、バスロケやコンテンツシステム、バスロケやコンテンツアプリの提供へのデータ提供を行った。また、沿線のバスマップ等に路線情報の掲載や沿線市によるイベントでルートマップ等を配布するなど利用促進に努めた。	A 台風19号による暴風雨のため11便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標 117,000 実績 90,383(77.3%) ※前年度比78.3%	41.3	31.5	3.9	8.1	74.3	52.2	市を跨ぐ利用者は、月平均6,000人で全体の88%を占め、現金、ICSFの定期外利用者が83.6%で、市外から病院への利用が多い。《地域的・ライダー的系統》 《地域の・ライダー的系統》 N-Nバス、瀬戸市コミュニティバス(本地線)、(日進市)くるりんばす(五色園線)	開設当初より路線の周知に努めてきたが利用者の増加には繋がっていない。関係自治体や大学、高校と連携したPRが必要である。高齢者定期券ゴールド・シルバーバスのPRを積極的の実施し、屋間帯の利用促進を図る。また、沿線市町と時刻表を作成し、ホームページ等を使った周知、市イベントでのPRなど利用促進を図る。

【交通圏】

①補助対象事業者等 運営主体	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥篠山市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)
	系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均)乗車数	R1 実績		
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市 豊栄交通(株)	市役所～イトーヨーカドー前～市役所	休日ダイヤを改正するとともに、平日ダイヤの微調整を行い、運送解消を図った。また、80歳以上の高齢者を対象とした「タクシー利用券」配布事業に「市営バス利用券」を追加し、選択制とした。	A 計画どおり運行されている。	目標:109,000 実績:96,485(88.5%) ※前年度比95.8%	800	63.4	4.2	18.7	14.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,500人で全体の99.2%と低い数値となっているものの、愛知医科大学病院のバスロータリーへの供用開始に伴い、周辺市コミュニティバスや名鉄バスと乗り継ぎが得意。通年で利用されていることから広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 《幹線の「広域的系統」》 長久手市N-バス、瀬戸市コミュニティバス、名古屋鉄道瀬戸線、名鉄バス、本郷ヶ原線、愛知医科大学病院線
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市 豊栄交通(株)	市役所～印場駅～市役所	休日ダイヤを改正するとともに、平日ダイヤの微調整を行い、運送解消を図った。また、80歳以上の高齢者を対象とした「タクシー利用券」配布事業に「市営バス利用券」を追加し、選択制とした。	A 計画どおり運行されている。	目標:123,000 実績:108,010(84.4%) ※前年度比82.5%	96.6	73.9	4.9	20.1	16.3	市を跨ぐ利用者は、月平均2,182人で全体の12%と低い数値となっているものの、愛知医科大学病院のバスロータリーへの供用開始に伴い、周辺市コミュニティバスや名鉄バスと乗り継ぎが得意。通年で利用されていることから広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 《幹線の「広域的系統」》 長久手市N-バス、瀬戸市コミュニティバス、名古屋鉄道瀬戸線、名鉄バス、本郷ヶ原線、愛知医科大学病院線
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多半田駅～常滑駅	沿線の常滑市では高齢者を中心とした運賃助成制度を試行的に開始した。また、半田市では路線図・時刻表を新規作成し、全戸配布やホームページ掲載、沿線施設への設置、民間広報誌への掲載などを行い周知に努めた。	A 事業計画どおり運行回数が増えている。	目標:54,200 実績:60,088(110.9%) ※前年度比107.6%	25.2	34.8	5.8	55.7	72.8	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線の常滑市では、路線バス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多半田駅～中部国際空港	沿線の常滑市では高齢者を中心とした運賃助成制度を試行的に開始した。また、半田市では路線図・時刻表を新規作成し、全戸配布やホームページ掲載、沿線施設への設置、民間広報誌への掲載などを行い周知に努めた。	B 一部区間に運休があったため、事業計画通りの運行回数が増えなかった。	目標:156,700 実績:139,931(89.3%) ※前年度比95.6%	34.4	34.4	4.3	66.4	47.7	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線の常滑市では、路線バス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	日本福祉大学～知多半田駅～常滑市民病院	沿線の常滑市では高齢者を中心とした運賃助成制度を試行的に開始した。また、半田市では路線図・時刻表を新規作成し、全戸配布やホームページ掲載、沿線施設への設置、民間広報誌への掲載などを行い周知に努めた。	A 事業計画どおり運行回数が増えている。	目標:54,000 実績:81,333(150.6%) ※前年度比102.8%	20.6	23.0	6.4	80.8	52.1	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、沿線の常滑市では、路線バス運賃助成制度を試行的に継続実施するとともに、広報誌や市のホームページの活用により、利用促進に努めていく。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運行主体	系統名			運行区間	【計画】目標指標:利用者数 A:達成 B:未達成 C:目標の半数にも満たず	R2計画	R2実績	輸送量(人) R2(平均)			運行回数 R1(実績)
知多乗合(株)	40 常滑南部(B)	常滑市民病院 ～上野間駅	沿線の常滑市では県が作成した旅のパンフレットを配布するなど周知を行うとともに、市のホームページと運行事業者のホームページをリンクした。	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	目標:41,600 実績:70,828(170.3%) ※前年度比103.8% A 2020年4月1日より、常滑市路線バス運賃助成事業を開始した。常滑市民病院への運賃等考慮したダイヤ改正により、利用者数が増加したと考えられる。	17.0	26.0	2.6	10.0	34.9	35.5	市町をまたぐ利用者は月平均372人で全体の約9%にとどまる。市町境が線点近くに位置することから、大半の旅客は常滑市内の利用である。市の施策をまたぐ利用が一定数あり、広域的な路線の役割を果たしている。 《接続する幹線系統》 名古屋線・常滑線、知多新線、知多乗合(半田・常滑線)
知多乗合(株)	41 師崎	河和駅～師崎港	沿線の南知多町と連携しHP等にも時刻表を掲載するとともに、町内で開催したタウンミーティングでの意見等の情報共有した。また、通学定期券の販売や町民感謝デーなどを実施した。	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	目標:88,700 実績:95,858(108.1%) ※前年度比105.9% A 南知多町から河和駅への通勤・通学旅客が増加したものと考えられるが、今後もより一層、利用促進を図る必要がある。	49.9	48.1	3.3	14.6	41.5	34.1	町を跨ぐ利用者は、月平均4,960人で全体の69%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。大部分は、鉄道(河和駅)の利用や通院・通学・沿線の総合病院への通院と考えられる。知多南部地区の重要な公共交通手段の一つである。 《地域的・ワンダー的系統》 (南知多町)海っ子バス(西海岸線)
知多乗合(株)	42 横須賀(A)	大府駅前～尾張横須賀駅	沿線市が運行するバスの路線図・時刻表に掲載し、沿線への乗継箇所を掲載し、広く周知を図った。	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	目標:85,850 実績:88,839(103.5%) ※前年度比102.1% A 各主要指標について前年から増加している。	52.0	50.0	4.0	12.5	79.0	60.7	2020年度中にホームページの刷新を行い、利用者の利便性に関する取組を進める。沿線の路線図・時刻表に掲載し、沿線への乗継箇所を掲載し、広く周知を図った。 大府市、東海市ともに高等学校近くに停留所があることや、鉄道駅を結ぶことによる通勤・通学利用者が多い点でもある。 《地域的・ワンダー的系統》 知多乗合(大府線)、東海市循環バス、大府市循環バス
知多乗合(株)	43 大府市循環バス(北コース)	共和駅東～名鉄前後駅～共和駅前	ホームページや広報により、路線改正に伴う利便性向上に関するPRを行うとともに、時刻表を大府市内の公共施設に加えて、沿線の豊明市役所、名鉄前後駅に配架した。	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	目標:46,000 実績:15,837(34.4%) C 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数が大幅に落ち込んだ。	17.0	6.1	0.9	6.8	—	2.3	市を跨ぐ利用者は、月平均240人で全体の12.7%に留まっているものの、PRと併せて名鉄前後駅の駅間利用が一定数あることから、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 《地域的・ワンダー的系統》 大府市循環バス、豊明市循環バス
南知多町	59 海っ子バス(豊浜線)	師崎港～河和駅	ホームページ、広報誌を活用したPR、時刻表の掲載、企画切符の販売、無料ツアー等を実施するとともに、沿線町営バスとの乗り換え案内など公共交通利用の呼びかけを住民に行った。	A 事業計画どおり運行回数が確保されている。	目標:72,400 実績:70,733(97.7%) ※前年度比96.8% B 人口減少・少子化等の影響による減少分を補うため、観光客の取込み等の利用促進施策を引き続き行う。	31.8	24.0	1.5	16.0	34.5	22.3	町を跨ぐ利用者は、月平均2,730人で全体の19%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。町算を越える病院への通院や鉄道駅(河和駅)の利用が多い。 《地域的・ワンダー的系統》 (南知多町)海っ子バス(西海岸線)

【交通圏】

06東海・大府・常滑・美浜

06東海・大府・常滑・美浜

06東海・大府・常滑・美浜

06東海・大府・常滑・美浜

06東海・大府・常滑・美浜

①補助対象事業 業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)			
	運行 事業者	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績			(平均 回数)	R1 実績	R2 実績
06東海・ 半田・大 府・常滑・ 美浜	武豊町	60 ゆめころん (赤ルート)	武豊町役場 武豊町役場 【公有民営方式 車両購入費用 庫補助金の交 付対象】(1台)	A 補助対象期間の開始日か ら、天候等による影響以外 での運休や大幅な遅延は なく、所定の事業計画ど おりの運行が実施された。	目標 46,000 実績 39,436(85.7%) ※前年度比80.1%	35.2	18.4	2.1	8.8	27.0	12.3	路線全体の利用者の2割以上が半 田市への乗り入れを行っている。 広域な交通網の形成により、利用者 月までの利用者が急増し、前年 同期比428人増であったが、 その後、新型コロナウイルス の影響により減少した。	安全に公共交通を利用できるこ とをPRし、無料乗車券の利用を 促すとともに、運転免許証の自 主返納を呼びかける。また、 ワンストップ等による窓口 取を行い、次期計画による交通網 を後継する。沿線の半田市で は、公共交通と高齢者運転免 許自主返納促進事業を合わせ てPRし、利用を促す。
07小牧・ 犬山・江 南	名鉄バス(株)	04 桃山	春日井駅～大 草	A 台風19号による暴風雨の ため6便が運休となった が、それ以外は所定の事 業計画とおりの運行が実 施された。	目標 56,400 実績 53,580(95.0%) ※前年度比96.8%	24.4	20.4	3.4	6.1	52.0	43.9	春日井駅及び春日井市中心街地 への移動には近接する他バス路線 を利用されているものと思われ、広 域幹線としての役割は果たしてい ない。 《地域的・フィーダー的系統》 ごまき巡回バス(北部東部コース、 かすがい、ソテテバス(東環状線、西 環状線、北部線、南部線)	関係市との協議の場を立ち上 げ、今後の路線の在り方につ いて、効果的に利便性の高いバ ス路線網への再編を検討する。
07小牧・ 犬山・江 南	名鉄バス(株)	09 岩倉	岩倉駅～名鉄 間内駅	A 台風19号による暴風雨の ため16便が運休となつた が、それ以外は所定の事 業計画とおりの運行が実 施された。	目標 41,500 実績 29,816(71.9%) ※前年度比74.3%	18.0	14.4	1.2	12.0	29.5	18.5	市を跨ぐ利用者は、月平均1,650人 で全体の65%を占める。、鉄道駅 (岩倉駅)の利用が大部分と考えら れる。また、定期利用が少ないため に安定した利用を確保するために周 知が必要 《地域的・フィーダー的系統》 ごまき巡回バス(南部北里コース、 多気・小針コース、春日寺・間内コー ス)	路線の認識がまだ低いのため、 周知活動を更に行うとともに、 利用者ニーズの把握に努め、 鉄道との接続強化を図るなど適 切な運行計画による利用者の 利便性向上に努める。また、沿 線市事業者と協力して、沿線 地区への回客等による周知・P Rを図っていく。
08津島・ あま・弥 富	飛島村	55 飛島公共 交通バス (蘆江線)	近鉄蟹江駅前 ～公民館分館	A 補助対象期間の開始日か ら、運休や大幅な遅延はな く、所定の事業計画通りの 運行が実施された。	目標 162,000 実績 135,993(83.9%) ※前年度比84.3%	73.0	71.3	4.3	16.6	58.4	51.7	市町村を跨ぐ利用者は、月平均13,234人 でほぼ100%の割合であり、近鉄蟹江駅 からは飛島村及び弥富市への通勤手段 として、飛島村内からは近鉄蟹江駅への 移動手段(主に通勤通学)として利用さ れている。適切な地域間公共交通として 機能していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 蘆江駅前広場の整備により、美 り線の利便性を向上させる。	令和2年10月から増便を行い、利 便性の向上を図る。ホームベ ーとして、飛島村内からは近鉄蟹江駅への 移動手段(主に通勤通学)として利用さ れている。適切な地域間公共交通として 機能していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 蘆江駅前広場の整備により、美 り線の利便性を向上させる。
09川谷・ 安城・碧 南・西尾	知立市	22 ミニバス(2 コース)	知立駅～三河 八橋駅～知立 駅	B 路線免許の認可が下りる までの間、運休にした。な お、運休期間は道路運送 法第21条で臨時運行した。	目標 45,128 実績 33,315(73.8%) ※前年度比69.6%	24.5	21.3	2.4	8.9	12.1	9.2	三河八橋駅からの利用者数は、86 人/月と推定される。市町村を跨い での利用者は3%にとどまっているも の、豊田市から知立市への通勤、 運送等の手段として一定の役割を 果たしている。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による利 用促進。特に新型コロナウイルス 又感染症防止ポスター等、の周 知を徹底し、利用者が安心して 乗車をできるような努め。また、豊 田バスマップに引き続き当該 路線情報を掲載し、利用促進を していく。
10豊田													

【交通圏】

①補助対象事業者等 運営主体	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
	系統名	運行区間			【計画目標指標:利用者数】 A:達成 B:未達成 C:目標の数値にも満たず	R2計画	R2実績	輸送量(人) (平均乗車数)			R1実績	R2実績
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	ミニバス(3コース) 知立駅～東刈谷駅～知立駅	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用について文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な運延はなかつた。所定の事業計画通りの運行が実施された。	目標:73,032 実績:61,625(84.4%) ※前年度比85.4%	63.6	55.1	10.6	26.4	19.8	東刈谷駅北口バス停からの利用者数は、797人/月と推定される。刈谷市東部の住民が、名鉄知立駅、秋田病院への通院、買い物等で利用することが多い。 《地域的・フリーダー的系統》 刈谷市公共施設連絡バス(依佐美線、東刈谷線、(安城市)あんくるバス(西谷線、作野線)、(豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による利用促進、特に新型コロナウイルス感染症予防防止ポスター等の周知を徹底し、利用者が安心して乗車できるよう努める。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	知立駅～野田新町駅～知立駅 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用について文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な運延はなかつた。所定の事業計画通りの運行が実施された。	目標:38,083 実績:29,097(76.4%) ※前年度比75.5%			9.8	9.8	7.6	野田新町駅北口バス停からの利用者数は、261人/月と推定され、刈谷市から名鉄知立駅、秋田病院への通院、買い物等で利用することが多い。 《地域的・フリーダー的系統》 刈谷市公共施設連絡バス(依佐美線、東刈谷線)、(豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による利用促進、特に新型コロナウイルス感染症予防防止ポスター等の周知を徹底し、利用者が安心して乗車でき、利便性が向上する運行に努める。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	あんくるバス(作野線) 新安城駅～新安城駅	利用促進のためのチラシ等を配布する際、おすすりめプランを掲載するなど、気軽にバスを借りやすくなるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性の向上を図った。	A 台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な運延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標:59,000 実績:50,417(85.5%) ※前年度比85.6%	47.6	45.5	6.9	18.1	16.1	市を跨ぐ利用者は221人/月と推定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、通勤、通学や安城更生病院、刈谷豊田総合病院への通院、市外への買い物のための利用が多いと考えられる。また、刈谷市東部から安城更生病院への通院利用者から《地域的・フリーダー的系統》名鉄バス安城線、刈谷市公共施設連絡バス、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線、高岡線)	バスローテーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や乗降調査による交通需要の把握を行う。また、公共交通に関する知識の向上や利用に対する意識の醸成に向け、モビリティ・マネジメントのための資料を作成し、乗り方教室等の資料を作成を講じる。刈谷市では、OD調査等を利用して実態を把握し、実態に即した路線改編等の検討を行う。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	あんくるバス(西部線) 新安城駅～新安城駅	利用促進のためのチラシ等を配布する際、おすすりめプランを掲載するなど、気軽にバスを借りやすくなるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性の向上を図った。	A 台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な運延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標:59,000 実績:50,105(84.9%) ※前年度比82.1%	44.8	40.0	6.9	17.0	14.5	市を跨ぐ利用者は242人/月と推定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、通勤、通学や安城更生病院、刈谷豊田総合病院への通院、市外への買い物のための利用が多いと考えられる。また、刈谷市東部から安城更生病院への通院利用者から《地域的・フリーダー的系統》名鉄バス安城線、刈谷市公共施設連絡バス、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線、高岡線)	バスローテーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や乗降調査による交通需要の把握を行う。また、公共交通に関する知識の向上や利用に対する意識の醸成に向け、モビリティ・マネジメントのための資料を作成し、乗り方教室等の利用促進策を講じる。刈谷市では、OD調査等を利用して実態を把握し、実態に即した路線改編等の検討を行う。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	一色 西尾市民病院～一色市民館	沿線地域での催事及び道路状況の情報収集に努め、定時運行の確保を図った。沿線の西尾市では高齢者向けに公共交通出行前講座、通学定期補助、市内の均一運賃化、佐久島渡船との接続強化などを実施し、バスの利便性を向上に努めた。	A 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令を機に、4月下旬から5月末まで、平日の休日ダイヤ運転を実施した。	目標:95,628 実績:76,786(80.3%) ※前年度比87.8%	30.5	29.3	11.3	60.2	43.7	西尾市旧一色町を跨ぐ利用者は、月平均6,047人で全体の94.5%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。通勤、通学や通院利用のほか、西尾駅から当系統を利用して佐久島へ向かう観光客や一色地区と西尾市中心部を跨ぐ利用者が多く見られる。 《地域的・フリーダー的系統》 名鉄東部交通バス(寺津線、平塚・中畑線)、(西尾市)六石・るりんバス、(西尾市)いつつやんバス	定時運行の確保や需要に合ったダイヤとするため、自治体との情報交換を密に行い、また、沿線の西尾市では、イベント、教室や、個人のおでかけに合わせたマイ時刻表の作成や乗り方案内等の出前講座の実施のほか、多言語対応のパンフレットを作成・配布する。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況				⑥篠原市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
	運行区間	系統名			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の数値にも満たず	R2計画	R2実績	(平均)回数			R1実績	R2実績
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	12 ふれんどバス① 吉良高校～碧南駅	沿線高校の利便性向上のため、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行った。また、沿線市では高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座の実施、Googleマップへの路線情報反映、沿線高校へバス通学を促すチラシの配布等を実施した。	A 台風19号による暴風雨のため19便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標:181,300 実績:165,273(91.2%) ※前年度比93.7% ※前年度比104.2% 利用者の大半が高校通学利用のため、新型コロナウイルスの影響も限定的であった。	44.1	50.0	12.4	36.2	26.2	市町域を跨ぐ利用者は、月平均13,200人で全体の99.30%を占める。利用の内訳は通学定期49.8%、定期外40.2%の順に多い。沿線の高校への通学利用のほか、碧南駅を利用していると考えられる。《地域的・ワンダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)デマンド集合タクシー(まいかい)	通勤・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、ICカードを導入するとともに、バスロケーションシステム提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	13 ふれんどバス② 吉良高校～碧南高校	沿線高校の利便性向上のため、ダイヤ改正を行った。また、沿線市では高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座の実施、Googleマップへの路線情報反映、沿線高校へバス通学を促すチラシの配布等を実施した。	A 台風19号による暴風雨のため7便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A 目標:157,900 実績:178,588(113.1%) ※前年度比116.3% ※前年度比104.2% 碧南高校までの延伸により、通学時の利便性が向上したことから、通勤・通学時間帯の利用が増加したと考えられる。通勤・通学利用者の異なる大規模な増加は見込めず、昼間帯の利用促進が重要。	38.6	49.2	9.4	34.0	35.2	市町域を跨ぐ利用者は、月平均12,090人で全体の87%を占める。利用の内訳は通学定期80.5%、定期外19.5%の順に多い。地域外からの沿線高校への通学利用の他、沿線地域の住民が鉄道を利用する際の利用が見られる。《地域的・ワンダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)デマンド集合タクシー(まいかい)	通勤・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、ICカードを導入するとともに、バスロケーションシステム提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
10豊田	名鉄バス(株)	03 矢並 豊田市～足助	関係市と協力し、時刻表・バスマップの作成、バスロケーションシステムの提供、乗降検察サイトへの情報提供、また、ノンステップバスへの更新等により、利用者の利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等にも本路線の情報を掲載し利用促進に努めた。	A 雨量規制による通行止で15本の運休、及び台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A 目標:121,900 実績:137,578(112.9%) ※前年度比115.4% 平成30年11月から沿線の路線に併せて増便により、利用者数の増加に繋がった。	51.9	53.1	11.8	45.7	45.9	豊田市と旧足助町を跨ぐ利用者は、月平均1,680人で全体の15%を占める。その内訳は、現金・ICSF(定期)以外35.4%、通学定期35.7%の順に多い。鉄道駅や中心市街地部への利用が大部分と考えられる。通学利用の比率が高く、豊田市中心部から足助地区への通学利用も多い。《地域的・ワンダー的系統》おいでんバス(旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線)	競合関係にある他路線との役割分担を明確にした上で、生活路線と観光路線の性格を併せ持つことを念頭に、利用実態に合わせて運行計画・利用促進を行う。また、高齢者用定期券を積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図る。
10豊田	名鉄バス(株)	17 おいでんバス(旭・豊田線) 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握と沿線市などの飲み物サービスや、1日乗車券の販売を実施した。また、「広瀬バス停での乗り継ぎを考慮した他路線にダイヤ改正を検討した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大規模な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標:91,817 実績:77,248(84.1%) ※前年度比80.9% 令和2年6月以降の利用者は、回復傾向にあるものの、他路線と比較すると回復率が低い。在宅勤務の普及による通勤利用者の減少や沿線の観光地への外出機会の減少が要因の一つとして考えられる。	33.7	27.2	10.9	26.6	14.1	本路線は様々な観光施設や豊かな自然環境を有する地域を生かした利用促進策を講じる必要がある。新型コロナウイルス感染症予防しながら、令和2年度の取組もあわせて、沿線広域や1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。	本路線は様々な観光施設や豊かな自然環境を有する地域を生かした利用促進策を講じる必要がある。新型コロナウイルス感染症予防しながら、令和2年度の取組もあわせて、沿線広域や1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。
10豊田	名鉄バス(株)	18 おいでんバス(小原・豊田線) 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(2台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握。また、1日乗車券を販売し、観光客のバス利用促進を図った。その他、バス情報のGTFIS化を行った。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大規模な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標:199,638 実績:157,711(79.0%) ※前年度比79.3% 令和2年6月以降の利用者は、回復傾向にあるものの、他路線と比較すると回復率が低い。通勤・通学時間帯は昨年度並みに回復しているものの、夜間帯の利用者の減少が見られる。	80.0	63.8	11.6	51.5	31.7	豊田市と旧小原村を跨ぐ利用者は、月平均1,922人で全体の12.8%と低い数値にとどまっているものの、加茂川高橋・四郷間の利用が非常に多く、通勤・通学手段だけでなく鉄道への乗継としても重要な役割を果たしている。	豊田市と旧小原村を跨ぐ利用者は、月平均1,922人で全体の12.8%と低い数値にとどまっているものの、加茂川高橋・四郷間の利用が非常に多く、通勤・通学手段だけでなく鉄道への乗継としても重要な役割を果たしている。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運行区間	系統名			輸送量(人)	収支率(%)	R2計画	R2実績	R1実績			R2実績
10豊田市	19	おいでんバス(藤岡・豊田線(西中山経由))	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握。 また、1日乗車券販売、観光客のバス利用促進を図った。 その他、バス情報のGTFS化を行った。	A 補助対象期間の開始日から、連休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:117,354 実績:91,734(78.2%) ※前年度比79.7%	48.6	30.4	4.0	7.6	62.4	30.1	豊田市と旧藤岡町を跨ぐ利用者は、月平均7,192人で全体の66.9%を占めている。「加茂丘高校」での乗降が多くなり、通学に利用していることが多く、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でも、1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。
10豊田市	51	豊田厚生病院 ～百年草 【公有民営方式 車両購入費国庫補助金の交付対象】(2台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。 また、1日乗車券の販売や沿線の広瀬やなでのバス利用者に対する飲み物サービスを実施し、利用促進を図った。	A 補助対象期間の開始日から、連休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:142,239(72.8%) 実績:142,239(72.8%) ※前年度比70.9%			4.0	16.3	29.5	30.0	市町村を跨いで利用者は月平均で6,572人と全体の約34%にとどまっているものの、中山間地域から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。また、近年は市中心部から足助地区の高校へ通学する利用者も増えている。 《地域的・ワンダー一的系統》 石野地域バス、(豊田市)足助地域バス、(みよし市)さんさんバス
10豊田市	50	おいでんバス(下山・豊田線) 大沼～豊田市 【公有民営方式 車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を継続して実施するとともに、9月から1日乗車券を販売し、観光客のバス利用促進を図った。	A 補助対象期間の開始日から、連休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:137,257 実績:120,900(88.1%) ※前年度比77.7%	68.4	74.2	6.4	11.6	50.1	48.1	利用者の増加を目指すため、通勤、通学等の日常利用以外での観光目的での利用を促進していく必要があり、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でも、1日乗車券の販売や沿線の松平郷などの観光地と連携した利用促進策の検討を行う。
10豊田市	49	おいでんバス(藤岡・豊田線(加納経由)) 藤岡支所～豊田市 【公有民営方式 車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を継続して実施するとともに、9月から1日乗車券を販売し、観光客のバス利用促進を図った。また、交通結節である藤岡支所の整備を行った。	A 補助対象期間の開始日から、連休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:117,354 実績:80,410(68.5%) ※前年度比76.5%	46.3	35.0	3.1	11.3	35.5	30.4	平日では日中時、休日では1日を通して利用者が少ないため、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でも、1日乗車券の販売や地域医療センター・養神社、瑞茂山の登山口などの沿線施設や観光資源と連携した利用促進策を検討する。
10豊田市	56	さんさんバス(交流路線) 黒笹駅～明知 下公民館	利用実態に合った柔軟な運行計画を行うとともに、豊田市バスマップ及び豊田厚生病院内設置の情報案内板にバス情報を掲載して利用促進を行った。令和2年度に地域公共交通計画を策定した。	B 新型コロナウイルス感染症の影響により、春先は利用者数が例年の半数以下に落ち、現在も回復していない。	目標:137,549 実績:120,981(88.0%) ※前年度比80.4%	71.3	50.6	4.4	11.5	25.6	18.0	市を跨ぐ利用者は月平均1,136人で全体の約1割強を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。みよし市民については豊田厚生病院への通院及び浄水駅の利用が多く、豊田市民もみよし市内の商業施設への移動のために利用していると考えられる。 《地域的・ワンダー一的系統》 (各線バス)星ヶ丘・豊田線 (豊田市)おいでんバス、(豊田市)高岡地域バス

【交通圏】

①補助対象事業 業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥樺敷市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)			
	運行 事業者	系統名			運行区間	【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2 計画	R2 実績	(平均 回数)			R1 実績	R2 実績	
みよし市	愛知つばめ交通(株)	57 さんさんバス(生活路線)	黒母駅～福田児童館	利用実態に合った柔軟な運行計画を行うとともに、豊田市バスマップ及び豊田厚生病院院内設置の情報案内板にバス情報を掲載して利用促進を行った。令和2年3月に地域公共交通計画を策定した。	A	目標:107,549 実績:108,975(101.3%) ※前年度比81.4% A 新型コロナウイルス感染症の影響により、春先は利用者数が前年の半数以下となり、現在も回復していない。	58.6	44.9	3.9	11.5	21.4	16.3	市を跨ぐ利用者は月平均919人で全体の約1割強を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 みよし市民については豊田厚生病院への通院及び浄水駅の利用が多いため、豊田市民のみならず市内の商業施設への移動のために利用していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 (豊田市)おいでんバス	利用者の利便性が向上する運行に努めていく。令和4年度に路線再編を予定し、さらなる利便性の向上を行う。
豊田市	高岡ふれあいバス(株)	58 高岡ふれあいバス(路線②)	上丘町～知立駅	新林地域全戸アンケート結果等を踏まえ、土橋駅又は市中心部への延伸、其餘バス化などの方向性について検討した。また、知立市では、ミニバスガイドにおいて、同路線に接続可能であることを継続的に記載した。	A	目標:119,839 実績:86,948(72.6%) ※前年度比73.1% B 近年利用者数は減少傾向にあり、利用者の多くを占めている通勤・通学利用者の移動形態の変革や少子化に伴う通学者の減少が影響していると推測される。	41.7	31.6	2.2	14.4	27.0	25.5	市を跨ぐ利用者は、1日平均222人で全体の93.0%と利用者の大部分を占めている。通勤・通学や通院、買い物等の手役として重要な役割を果たしていると考えられる。 《広域的・幹線系統》 名古屋鉄道、(豊田市)高岡ふれあいバス、(知立市)ミニバス	土橋駅又は豊田市市中心部への延伸、其餘バス化等の方向性及び道路渋滞等の現状を踏まえ、ふれあいバス路線全体のルート・ダイヤ等の改編を行ってきたい。
豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	28 作手	新城富永～作手高里 【車両減価償却費等国庫補助金の交付対象】(新城営業所に3台他系統と共通)	新城東高校作手校舎に通学する学生の利便性向上のため、「新幹線乗り降り」停留所に駐輪場を設置した。新城市と協力してバスマップを発行し全戸配布による周知を図った。	A	目標:51,359 実績:56,127(109.3%) ※前年度比85.1% A 前年度に比べて利用者が減少した理由は、高校の休校によるものと考えられる。	21.9	23.0	3.9	5.9	38.7	89.2	新城市と旧作手村を跨ぐ利用者は、月平均4,605人で全体の99.4%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。沿線学校への通学利用や新城市民病院への通学利用や新城市民病院への通勤・通学利用が大半を占める。 《地域的・フィーダー的系統》 (新城市)Sバス(つくであしがら線、守養線、北部線、西部線、中宇利線、吉川市川線)	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSt化を行い、利便性向上を図る。 令和元年10月から作手地区内デマンド型区域運行のコミュニティバスを運行開始し、接続する作手線の沿線人口の増加と乗り継ぎの利便性が向上したため、利用者への周知を進めていく。
豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	29 新城上平井田口	新城病院前～田口 【車両減価償却費等国庫補助金の交付対象】(新城営業所に3台他系統と共通)	名古屋圏の住民をターゲットとした高速バスと路線バスを合わせたお得な切符を作成し、地元観光地のPRを兼ねたチラシを作成・配布した。設楽町では免許返納者への乗車回数券、元元バス(高齢者用定期券)、定期券補助制度を継続した。新城市ではバスマップの発行、全戸配布を行ったことにも、利用者に合わせて時刻表を作成し、周知を図った。	A	目標:42,633 実績:32,662(76.6%) ※前年度比66.0% B 定期外収入が前年比45.1%と大きく減少した。新型コロナウイルスの影響によるものと考えられる。	17.3	15.4	2.0	7.7	36.8	26.7	新城市、設楽町を跨ぐ利用者は、月平均2,895人で全体の73.9%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。沿線学校への通学利用や新城市民病院への通院、鉄道駅(体長橋駅)の利用が大部分を占める。 《地域的・フィーダー的系統》 (新城市)Sバス(北部線、布里田養老線、吉川市川線、中宇利線、秋葉七瀬線、長篠山吉田線、堤瀬線)、設楽町おでかけ北設(津具線)	令和3年3月のバスロケーションシステムの導入に合わせ、GTFSt化を行い、利便性向上を促す。 また、沿線市町では、高速バスと連携した旅行プランの作成やバス停までの移動手段の確保の検討などを行う。

【交通圏】

10豊田

10豊田

11新城

11新城